



チャレンジ! 一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.51
令和7年 1月10日
文責:校長 酒井 健

◇冬休み期間中に「小学校合唱交流会」が開催されました。

12月25日(水)、けんしん郡山文化センターにおいて、「小学校合唱交流会」が開催されました。この交流会には、市内の朝日が丘小学校、大島小学校、薫小学校、そして橋小学校の4校が出場しました。交流会という名のとおり、各校の合唱演奏だけではなく、4校そろっての学年ごとの発表があったり、各校の子どもたちがあいさつをしたりなど・・・楽しいひと時となりました。

橋小学校の合唱部の子どもたちは、「気球に乗ってどこまでも」「冬の童謡唱歌メドレー」「地球星歌」の3曲を発表しました。心に響く、すばらしい歌声でした。



◇地域の皆様に感謝です。年末に、橋公民館で「クリスマス会」

12月21日(土)、橋公民館で、社会福祉協議会橋地区の皆様による「クリスマス会」が開催されました。ゴスペル演奏、聖歌隊の演奏、ゲーム、手品・・・盛りだくさんの内容でありました。当日、橋小学校の子どもたちは約70名ほど参加していました。最後には、記念撮影をして、ケーキまでいただきました。私までいただいてしまいました。社会福祉協議会橋地区の皆様にご心から感謝申し上げます。いつも、いつも、橋小の子どもたちのために、本当にありがとうございます。



校長のひとりごと



今年度の春、福島県校長会の広報誌に、『地域との結びつきを基盤とした「ふるさと」と向き合う子どもの育成』というタイトルで、文章を書かせていただいたことがあります。その一部ですが、ご紹介します。

「～ 学校とは、地域の中で単独で成立しているのではなく、たくさんのつながりで支えられているものである。本校においても、社会福祉協議会橋支部、青少年健全育成橋地区協議会・・・など、たくさんの団体があり、それぞれが本校の子どもたちを温かく見守っていただいている。橋公民館で開催された「少年の主張コンクール」「オセロ大会」「クリスマス会」「書初めをしよう」・・・など、どの場面においても、子どもたちのために、真剣に取り組んでいる地域の方々の姿があった。

校長として参加させていただいて感じたことは、「橋小の子どもたちはなんて幸せなことか」ということである。地域の方々に愛され、守られ、育まれている子どもたち。地域の強みが、地域の方々の笑顔から知ることができた。地域の方々の絶大なるご協力が、まさに子どもたちのふるさとへの愛着心を大きく膨らませていただいている。心から感謝である。

子どもたちは、未来を担う地域の宝物である。学校だけではなく、保護者、地域と手を取り合って、目の前の子どもたちを育てていくこと・・・それが学校の使命の一つである。子どもたちが成長し、大人になった時に、「私のふるすとは郡山市です。橋地域です。すてきなところですよ。」と胸を張って言えるようになってほしい。それが、ふるさと教育の原点ではないだろうか。成長した子どもたちと出会えるのが、今から楽しみである。」

